

平成27年度 横浜市立緑園東小学校「豊かな心の育成」推進プラン

中期学校経営方針・「豊かな心」達成目標

道徳の時間はもとより、各教科等の授業を含む様々な教育活動において、お互いを認め合い、自他を大切にしている心情や態度を育てる。

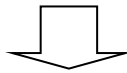
児童の実態（「豊かな心の育成」に関わる課題）

全体的に落ち着いて穏やかに生活している。また、何事にも一生懸命に取り組む姿勢がみられる。地域からの協力も得られており、子どもたちも地域の行事には積極的に参加している。しかし、次の点が課題として挙げられる。

- ・自分からすすんで挨拶することが苦手である。（コミュニケーション能力に関する課題）
- ・自尊感情がやや低く、「自分のことを認める」、「自分に自信がある」という意識が薄い傾向にある。（自己に関する課題）
- ・家族や友だちとの約束、学校のきまりを守れていないという意識がある。（他者に関する課題）

「豊かな心の育成」に関する指導の目標・方針

- ・望ましい集団活動を通して、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的態度を育み、自己の生き方や考え方を深め、相手を大切にしようとする心情を養う。
- ・子どもの社会的スキル横浜プログラム（YP）を活用し、子どもの自尊感情の育成、コミュニケーション能力などの向上を図り、誰もが安心して豊かに過ごせる学級、学校風土を醸成する。



指針2 体験活動の充実（視点3：望ましい集団活動）

○「係活動」や「当番活動」の充実

学校生活をよりよくするための組織であり、係活動や当番活動に自主的に取り組むことができ、自分たちで計画を立て運営できる力を育成する。

○「異年齢集団活動」の充実

クラブ活動やなかよし班（たてわり班）活動などの異年齢集団活動をより自主的、意欲的に行うことができるようにする。

○「体験学習」の充実

生活科や総合的学習の時間等を中心に校外の豊かな自然や文化に触れる体験活動を充実させ、友だちとのかかわりや地域・現地の人とのふれあいを通して、コミュニケーション能力の育成を図る。

指針3 確かな人権感覚・意識の育成（視点7：子どもの社会的スキルの育成と安全で安心な学級・学校風土の醸成）

○子どもの社会的スキル横浜プログラム（YP）の実施

YPの実施とアセスメントシートの作成を学校を挙げて行い、子どもの社会的スキルの育成を図る。

○いじめ対策の実施

いじめアンケートを定期的に行い、一人ひとりの子どもに目を向けた丁寧な対応を行い、いじめは決して許さないという姿勢を示す。